第22回 定時株主総会

2025年6月26日

事業報告

「企業集団の現況」
- 当連結会計年度の事業の状況 -

特化型AI「KIBIT」を基軸とした当社事業の変遷と実績

※2025年3月31日時点 ※※各製品・サービスの累計導入実績

大手企業を中心に導入

金融機関

製造業

製薬企業

サービス業

大学・研究機関

(一部掲載、順不同)
※2025年6月1日時点

自社開発の特化型AI「KIBIT」の提供を通じて、日夜社会課題と向き合う各分野の専門家を科学的に支援

社会課題

訴訟 不正 コンプライアンス 経済安全保障 技能伝承 病気 事故

解決の努力

専門家

弁護士 犯罪捜査官 特許分析員 創薬研究者 医師 看護師・介護士

自然言語による判断
(会話、文書、論文)

専門家自らが
理解する仮説生成

判断支援

NLP AI 特許取得済み

豊富な社会実装経験

マップ化する技術 (特許取得済み)

専門家専用システム

創薬研究者が分析をするために最適にデザインされたシステム

例：Drug Discovery AI Factory

**未知の発見
仮説・検証**

連続的な発見の限界：99%の努力の限界

連続的なつながりであるが、
nが非常に大きいと、

1からnの想起は難しい

nの想起は難しいが、、、
存在はしているので必ず見つかる

世界のNLP：連続的な発見

連続的な発見の限界：99%の努力の限界

KIBIT：非連続的发现

1 から n はそもそも連続的なつながりでは
想起できない

万有引力の概念がない時代に、
万有引力の情報はみつけれない

「1%のひらめき」を意図的に誘発するKIBIT

KIBITは“目の前でリンゴを落とす”技術

非連続的なつながりをマップで表現
専門家のインスピレーションを刺激

ひらめきを誘発

Kibit+ は

人工頭脳ではなく、

人工知能をめざした

純国産AI KIBIT

数学的アプローチで開発された、軽くて高性能なAI

Green microAI

Kibi+
モデル

GCE
モデル

400分の1の構造

設計思想の違い

他のAI（生成AI含む）

人間の脳の神経回路網を数式的なモデルで表現

脳(神経ネットワーク)を創造する

設計思想の違い

KiBi+

- 人間の子供が新しい言葉を学ぶ過程
- 人が思考を発展させる過程

人の学び、思考過程を創造する

KIBITの特徴 ※特許取得済み

■ 論文解析

- ✓ 品質の低い論文の影響を**全く受けない**
- ✓ 既知の情報から未知の発見

$$\frac{d^2 x^\lambda}{dr^2} + \Gamma^\lambda_{\mu\nu} \frac{dx^\mu}{dr} \frac{dx^\nu}{dr} = 0$$
$$G^{\mu\nu} = \frac{8\pi G}{c^4} T^{\mu\nu}$$

SPRINGER NATURE × **Kibi+**

現時点では、**KIBITが世界で唯一**、Natureの論文にアクセス・分析を許されているAI

AI創薬とAI医療機器 2領域で事業展開

AI医療機器

医療機器プログラムⅡに該当

- 厚労省優先審査対象品目
- 治験開始
- 2026年度の承認取得

AI創薬

「Drug Discovery AI Factory」 による仮説生成に特化した創薬支援事業

医薬品

創薬の始まりは標的分子の探索

ただし、標的に作用したとしても、以下のリスクが存在

- × 生理的変化が見られない
- × 副作用・毒性などの悪影響を引き起こす可能性

検証が必須

ライフサイエンスAI分野 AI創薬領域 創薬プロセス

- 創薬研究初期の探索研究領域でAI創薬支援サービス Drug Discovery AI Factory (DDAIF) を提供し、医薬品開発の成功率向上に貢献

Drug Discovery AI Factory (DDAIF)

重複差分解析

Virtual Experiments

二次元マッピング

多面的解析

#	疾患名	関連性	原因性	遺伝性	感受	肝毒性	腎毒性	心毒性	肺毒性	神経毒性	生殖毒性	?
1	疾患 X	0.964	0.578	1.000	0.818	1.000	0.989	0.989	0.989	0.953	1.000	0.000
2	疾患 S	0.924	0.542	0.981	0.909	1.000	0.989	0.989	0.989	0.943	1.000	0.000
3	疾患 B	0.984	0.504	0.981	0.818	1.000	0.989	0.989	0.989	0.953	1.000	0.000
4	疾患 O	0.887	0.616	0.954	0.727	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000	0.000
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮
11199	疾患 Q	0.113	0.247	0.031	0.882	0.921	0.976	0.833	0.993	0.878	0.85	0.000
12000	疾患 M	0.099	0.155	0.000	0.076	0.779	0.989	0.287	0.743	0.864	1.000	0.000

※公開可能PJのみ記載

FRONTEOは医薬品開発の設計図とも言える「仮説」を提供

- AIと創薬研究の融合：
 - ・ 疾患関連性が未報告の、新規性の高い標的分子を発見できる
 - ・ 網羅的かつアンバイアスに関連性の高いつながりで構成される疾患メカニズムを構築
- 独自開発のAIエンジン「KIBIT※」が高度な仮説生成を可能に
 - ※日米で「特許取得済」（複数のPOCで実証済み）

FRONTEOの考える仮説

創薬プロセスの最上流工程を担う

半導体業界バリューチェーン

ステージ4* (中期計画) FY28の売上高イメージ

ライフサイエンスAIをステージ4*の中核事業と位置づけ、経営資源の集中を徹底

② 成長投資を行ってきたライフサイエンスAIが、FY28 連結売上高300億円、営業利益60億円の達成を牽引していく ②

① FY21をピークとした連結売上高の減少は、リーガルテックAI (LTAI) 事業の売上縮小が主な要因

*ステージ4：成長可能性資料参照

第22期 連結計算書類

連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	第21期 (2024年3月期)	第22期 (2025年3月期)	増減
流動資産	4,964	4,003	-961
固定資産	2,558	2,463	-94
資産合計	7,522	6,466	-1,056
流動負債	3,422	2,844	-578
固定負債	1,260	394	-865
負債合計	4,683	3,239	-1,444
株主資本	874	1,430	+556
その他 純資産	1,964	1,796	-167
純資産合計	2,839	3,227	+388

(単位:百万円)

科目	第21期 (2024年3月期)	第22期 (2025年3月期)	増減
売上高	7,375	6,099	-17.3%
売上総利益	3,725	3,452	-7.3%
販売費及び一般管理費	3,910	2,925	-25.2%
営業利益	-185	527	+712
経常利益	-168	543	+711
親会社株主に帰属する当期純利益	-2,843	555	+3,398

(単位:百万円)

事業部門	科目	第21期 (2024年3月期)	第22期 (2025年3月期)	増減
AIソリューション事業	売上高	2,797	2,607	-6.8%
	営業利益	162	277	+115
リーガルテックAI事業	売上高	4,577	3,491	-23.7%
	営業利益	-347	249	+597
連結合計	売上高	7,375	6,099	-17.3%
	営業利益	-185	527	+712

- **設備投資の状況**
- **資金調達の状況**
- **財産及び損益の状況**
- **重要な子会社の状況**
- **対処すべき課題**
- **使用人の状況**
- **主要な借入先の状況**
- **株式の状況**
- **会社役員の状況**
- **貸借対照表**
- **損益計算書**

当社Webサイト掲載の招集通知
および株主総会資料をご覧ください。

FRONTEO Bright Value

記録に埋もれたリスクとチャンスを見逃さない
ソリューションを提供し、
情報社会のフェアネスを実現します。